

承認	議長	副議長	事務局長	総括参事	合議	担当
						

様式第1号

2023 年 10 月 6 日

真庭市議会

議長 小田 康文 様

真庭市議会議員

古南源二



調査研究、研修会、要請・陳情活動届

政務活動費を使用して、下記のとおり研究、調査等を行うことについて届けますので、承認願います。

記

1 区 分 調査研究 研修会 要請・陳情活動

2 訪 問 先

富山県富山市富山県民会館ホール
富山県南砺市

3 内 容

全国過疎問題シンポジウム2023in 富山に参加のため

4 行 程

別紙のとおり

5 事務局から訪問先への依頼

必要

不要



(注) 複数の議員で実施する場合、代表者の届けでよいが、参加議員名簿を添付すること。

全国過疎問題参加工程表（予定）

10 月 26 日	
5:30	出発
	自家用車
12:00	富山県民会館
13:00	基調講演 & パネルディ スカッション
17:00	
18:00	交流会
19:30	
19:40	アパホテル泊

10 月 27 日	
8:10	出発
	バス又は自家用車
9:00 南砺市井波総合文化センター	
9:30	パネルデス カッション
12:00	
19:00	帰着

参加者 中尾哲夫

古南源二

伊藤義則

以上 3 名

ウェルビーイング先進地域
～多様な人材が創るこれからの地域社会～

全国過疎問題 シンポジウム2023

in とやま

令和5年
2023 10.26 木 - 27 金

26日 木
全体会

交流会

富山県民会館ホール (富山市)

- 令和5年度
過疎地域持続的発展優良事列表彰式
- 基調講演「過疎地域の使命」
〈講師〉宮口 侗延 氏 (早稲田大学名誉教授)
- パネルディスカッション
「ウェルビーイング先進地域
～多様な人材が創るこれからの地域社会～」
ANAクラウンプラザホテル富山 (富山市)

27日 金
分科会

朝日町

氷見市

南砺市

●第1分科会 優良事例発表・現地視察
(あさひコミュニティホールアゼリア)

●第2分科会 優良事例発表・現地視察
(氷見市芸術文化館)

●第3分科会 パネルディスカッション・現地視察
(南砺市井波総合文化センター)

参加申込は
こちらから



主催／総務省、全国過疎問題シンポジウム実行委員会 (富山県、一般社団法人全国過疎地域連盟、富山県地域振興団体協議会)

後援／農林水産省、国土交通省、子ども家庭庁 (申請中)、文部科学省、厚生労働省、経済産業省、環境省、全国知事会、全国都道府県議会連合会、全国市長会、全国市議会連合会、全国町村会、全国町村議会連合会、全国山村振興連盟、一般財団法人地域活性化センター、富山県市長会、富山県市議会連合会、富山県町村会、富山県町村議会連合会、公益財団法人富山県市町村振興協会、読売新聞北陸支社、朝日新聞富山総局、毎日新聞社富山支局、北陸中日新聞、株式会社日刊工業新聞社富山支局、日本経済新聞社富山支局、(一社)共同通信社富山支局、時事通信社富山支局、北日本新聞社、富山新聞社、NHK富山放送局、北日本放送、富山テレビ放送、チューリップテレビ、富山エフエム放送、一般社団法人富山県ケーブルテレビ協議会

全国過疎問題シンポジウム2023 in とやま

開催のご案内

大会趣旨

過疎地域では、人口減少や少子高齢化が進展し、産業の衰退による地域社会の活力の低下をはじめ、集落機能の低下等さまざまな課題に直面しています。

一方で、豊かな自然や農地、森林などを有する過疎地域は、水源の涵養、食料の生産、自然災害の防止といった人々の生活や生産活動を支える公益的役割を担うとともに、ウェルビーイング（自分らしく幸せに生きられること）を実感できる「幸せの基盤」が揃っています。

「全国過疎問題シンポジウム2023 in とやま」は、過疎地域の可能性について、新たな気づきや発見がある場とするとともに、全国の優れた取組にふれ、参加者相互の交流を図るなど、人と人とのつながりを通じて将来に向けた取組を考える契機となることを目指します。

26日
[木]

全体会

富山県民会館（本館）

11:00 展示ブースオープン

12:00 受付開始

13:00 開会式

- ・開会宣言 富山県地域振興団体協議会過疎地域振興部会長（朝日町長）
- ・主催者挨拶 総務大臣（一社）全国過疎地域連盟会長
- ・歓迎挨拶 富山県知事

13:20 令和5年度過疎地域持続的発展優良事例表彰式

13:50 休憩

14:05 基調講演「過疎地域の使命」
《講師》宮口 侗迪 氏（早稲田大学名誉教授）

15:00 休憩

15:10 パネルディスカッション

「ウェルビーイング先進地域
～多様な人材が創るこれからの地域社会～」

【コーディネーター】 指出 一正 氏（(株) sotokoto online 編集長）

【パネリスト】 藤田 とし子 氏（まちとひと 感動のデザイン研究所 代表）

金子 知也 氏（(公社) 中越防災安全推進機構にいがたイナカレッジ マネージャー）

島田 優平 氏（(一社) ジソウラボ 代表理事）

佐藤 みどり 氏（NPO法人立山 クラフト舎 代表理事）

16:55 次期開催県紹介

17:00 閉会

基調講演《講師》

としみち 宮口 侗迪 氏 (早稲田大学名誉教授)

1946年富山県富山市(旧細入村)生まれ。東京大学地理学科同大学院博士課程にて社会地理学を専攻し早稲田大学に勤務。1985年教授、その後教育・総合科学学術院長を歴任。2017年名誉教授。国土審議会専門委員、大学設置審議会専門委員、自治大学校講師、富山県景観審議会会長、富山市都市計画審議会会長を歴任、2021年3月まで総務省過疎問題懇談会座長として、新しい過疎法の制定に尽力、地方の発展のあり方について発言を続ける。1985年から富山市在住。『過疎に打ち克つー先進的な少数社会をめざしてー』(原書房)ほか著書多数。



パネルディスカッション《コーディネーター》

指出 一正 氏 ((株) sotokoto online 編集長)

「ソトコト」編集長。富山県「くらしたい国、富山」推進本部本部員、島根県「しまコトアカデミー」メイン講師、山形県小国町「白い森サステナブルデザインスクール」メイン講師、和歌山県田辺市「たなコトアカデミー」メイン講師、福島相双復興推進機構「ふくしま未来創造アカデミー」メイン講師、奥大和地域誘客促進事業実行委員会、奈良県、吉野町、天川村、曽爾村「MIND TRAIL 奥大和 心のなかの美術館」エリア横断キュレーター、群馬県庁31階「ソーシャルマルシェ&キッチン「GINGHAM (ギンガム)」」プロデューサーをはじめ、地域のプロジェクトに多く携わる。内閣官房、総務省、国土交通省、農林水産省、環境省などの国の委員も務める。経済産業省「2025年大阪・関西万博日本館」クリエイター。著書に「ぼくらは地方で幸せを見つける」(ポプラ新書)。



パネルディスカッション《パネリスト》

藤田 とし子 氏 まちとひと 感動のデザイン研究所 代表

かしわインフォメーションセンター時代には、クチコミを活用した魅力発信事業でまちのにぎわいと回遊性を創出。その後も一貫して持続可能なまちづくりにこだわり、市民起点の「まち歩きMAPプロジェクト」を全国150エリアで展開。次世代人材の育成に力を注いでいる。



金子 知也 氏

公益社団法人 中越防災安全推進機構
にいがたイナカレッジ マネージャー

中越地震により過疎化が加速した新潟県中越地域の農村地区で都市部の若者を受け入れるプログラム「にいがたイナカレッジ」を2012年に立ち上げる。プログラムへの参加をきっかけに定住する人も多くみられるようになり、県内各地にも活動の輪を広げている。



島田 優平 氏

(一社) ジソウラボ 代表理事

2008年から家業の林業に携わる。森林をキーワードに人と人との関係性や地域の方角性について考え、各種事業に参画。井波日本遺産推進協議会ワーキンググループ座長として、日本遺産関連事業を推進。これを機にジソウラボを有志で設立し、地域活性に取り組む。



佐藤 みどり 氏 NPO法人立山 クラフト舎 代表理事/陶芸家

愛知県瀬戸市を中心に陶芸を学ぶ。2014年富山県立山町に移住し、3年間立山町地域おこし協力隊として活動。2015年から、全国からもの作りの作家が集うクラフトフェア「立山 Craft」を毎年主催。2017年NPO法人立山クラフト舎を設立し代表理事を務める。



26日
[木]

交流会

ANAクラウンプラザホテル富山(富山駅前)

●交流会参加費

お一人様:5,000円

17:30 受付開始

18:00 開会～ 19:30 閉会

富山の地酒もご用意しています。
皆様のご参加をお待ちしております。



27日

金

分科会 (優良事例発表会・現地視察)

朝日町/氷見市

- ・当日は富山駅と各分科会場および各視察先を結ぶ専用バスを運行します。
- ・現地視察の定員は各80名です。申込多数の場合は抽選により参加者を決定します。
- ・現地視察に参加される方には、参加費(昼食代)が発生します。
- ・午前のみ参加の方は無料です。(終了後、専用バスにて富山駅に戻ります)

第1分科会

朝日町

あさひコミュニティホール アゼリア

8:30 富山駅北口発(専用バス利用の場合)

9:15 会場受付開始

9:50 過疎地域持続的発展優良事例発表会

【コーディネーター】宮口 侗迪 氏(早稲田大学名誉教授)

【発表者】総務大臣賞及び全国過疎地域連盟会長賞受賞団体

11:55 スペシャルトークセッション

「富山県朝日町発、日本の幸せづくり

～一人ひとりが住みたい場所に住み続けるために～」

藤野 英人 氏 (一社)みらいまちラボ合同代表、
× レオス・キャピタルワークス株式会社 代表取締役会長兼社長 CEO&CIO

島山 洋平 氏 (朝日町次世代パブリックマネジメントアドバイザー、(株)博報堂)

12:30 解散(午前のみ参加者は専用バスで富山駅へ)

現地視察 定員:80名

12:40 (昼食:紋左(たら汁定食))

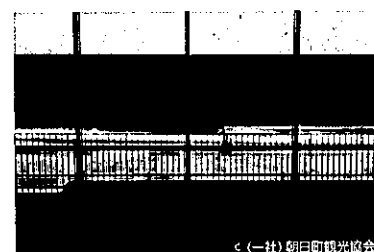
1 ヒスイテラス(見学・ヒスイ探し)

2 ふるさと美術館(見学・DX取組事例紹介)

17:00 解散(富山駅)



あさひ舟川「春の四重奏」



ヒスイテラスから望むヒスイ海岸

第2分科会

氷見市

氷見市芸術文化館

8:30 富山駅北口発(専用バス利用の場合)

9:15 会場受付開始

9:50 過疎地域持続的発展優良事例発表会

【コーディネーター】指出 一正 氏((株)sotokoto online 編集長)

【発表者】総務大臣賞及び全国過疎地域連盟会長賞受賞団体

11:50 解散(午前のみ参加者は専用バスで富山駅へ)

現地視察 定員:80名

12:00 (昼食:番屋亭(海鮮御膳))

1 氷見漁港場外市場 ひみ番屋街(お土産等購入)

2 SAYS FARM(見学、ワイン試飲※)※別途有料・希望者のみ

3 あいやまガーデン(見学)

4 漁業文化交流センター(見学)

17:00 解散(富山駅)



蛇ヶ島越しの立山連峰



氷見市漁業文化交流センター

27日
金

分科会 (パネルディスカッション・現地視察)

南砺市

- ・当日は富山駅と各分科会場および各視察先を結ぶ専用バスを運行します。
- ・現地視察の定員は各80名です。申込多数の場合は抽選により参加者を決定します。
- ・現地視察に参加される方には、参加費 (昼食代) が発生します。
- ・午前のみ参加の方は無料です。(終了後、専用バスにて富山駅に戻ります)

第3分科会

南砺市

南砺市井波総合文化センター

8:15 富山駅北口発 (専用バス利用の場合)

9:00 会場受付開始

9:30 パネルディスカッション

「集落の暮らしを未来へつなぐ
～縮退する過疎集落に向き合う現場での取組と課題～」

【コーディネーター】 関司 直也 氏 (法政大学現代福祉学部 教授)

【パネリスト】 田口 太郎 氏 (徳島大学大学院社会産業理工学研究部 准教授)

小玉 陽造 氏 (山口県岩国市 市民協働部長)

小島 公明 氏 (兵庫県朝来市いくの地域自治協議会 事務局長)

川島 尚子 氏 (高知県室戸市まちづくり推進課 集落支援員)



世界遺産 相倉合掌造り集落



ジソウラボ

12:00 解散 (午前のみ参加者は専用バスで富山駅へ)

現地視察 定員:80名

12:15 (昼食:道の駅木彫りの里 (麦屋パークの山海膳))

1 (一社) ジソウラボ取組紹介 (概要説明・散策)

7年間で42件の空き家・空き店舗が再生されている井波のまちを、
散策しながら体感していただきます。(クラフトビール工房、コーヒーショップなど)

2 世界遺産 相倉合掌造り集落 (見学・お土産等購入)

17:00 解散 (富山駅)

参加申込のご案内

●参加費

(1名あたり)

10/26日 木	全体会	参加無料	
	交流会	5,000円	
10/27日 金	分科会	午 前	参加無料
		現地視察	●第1分科会 (朝日町) 2,130円 (昼食代含む)
			●第2分科会 (氷見市) 2,200円 (昼食代含む)
			●第3分科会 (南砺市) 1,950円 (昼食代含む)

●参加申込方法

URLまたは二次元コードからWEBサイトにアクセスし、お申込みください。

<https://va.apollon.nta.co.jp/kaso-symposium2023/>

申込期限 令和5年9月8日 (金)

締切後、確定した参加内容を日本旅行よりメールにてご案内いたします。参加費が生じる場合、その振込先等についても併せてご案内いたします。キャンセル料についてはWEBサイトをご確認ください。

※参加申込はWEBのみとなります。郵送、FAXによる申請は受け付けておりません。ご了承ください。

お問合せ先

【観光庁長官登録旅行業第2号/一般社団法人日本旅行業協会正会員】

株式会社 日本旅行 TIS富山支店「全国過疎問題シンポジウム2023 in とやま」受付デスク 係 (担当:木下・堀江・瀧川)

〒930-0001 富山市明輪町1番230号 TEL:076 (433) 1184

(営業日:平日10:00~18:00※土日祝日/年末年始は休業)





《富山きときと空港》

- ▶富山～東京 約55分
▶富山～北海道 約1時間25分

《富山きときと空港》から会場までは
タクシーで約25分／バスで約25分
(富山市役所前下車すぐ)

●鉄道でお越しの場合



《JR富山駅》

- ▶ 富山～東京 約2時間10分
- ▶ 富山～大阪 約3時間10分
- ▶ 富山～名古屋 約3時間

〈JR富山駅〉から会場までは徒歩10分

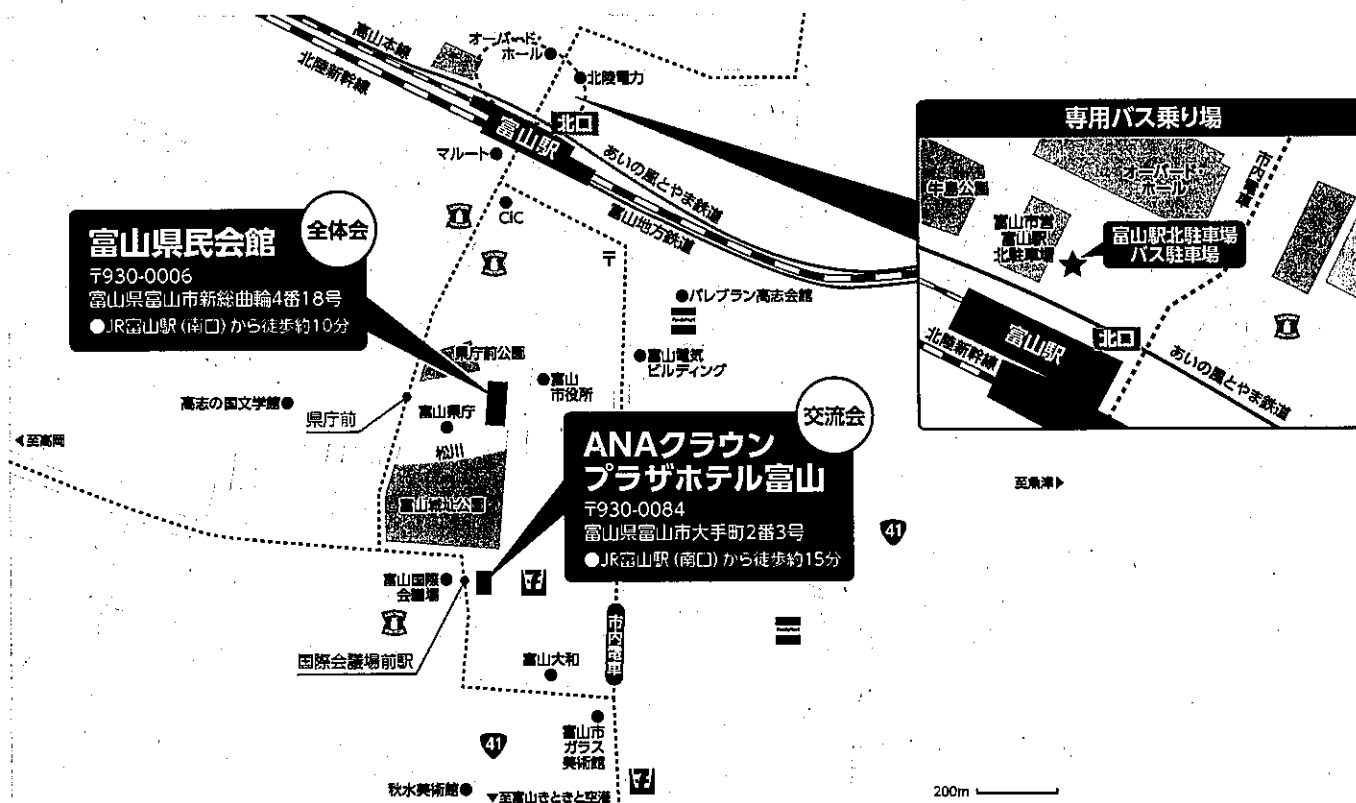
●自動車でお越しの場合



《富山.C》

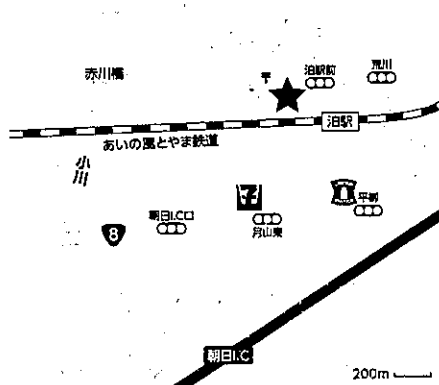
- ▶ 富山～東京 約4時間50分
(関越自動車道 練馬I.C上信越自動車道-北陸自動車道 富山I.C)
- ▶ 富山～大阪 約4時間15分
(名神高速道路 豊中I.C-北陸自動車道 富山I.C)
- ▶ 富山～名古屋 約3時間
(東海北陸自動車道 一宮I.C-北陸自動車道 富山I.C)

全体会会場・交流会 会場MAP



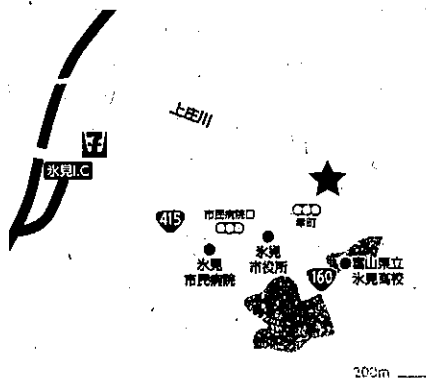
第1分科会 朝日町

あさひコミュニティホールアゼリア
〒939-0744 富山県下新川郡朝日町平柳688



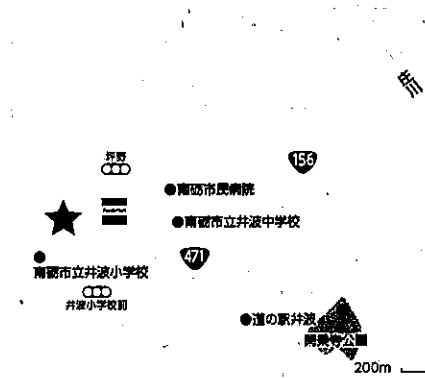
第2分科会 氷見市

氷見市芸術文化館
〒935-0021 富山県氷見市幸町31-9



第3分科会 南砺市

南砺市井波総合文化センター
〒932-0231 富山県南砺市山見1400





報 告 書

2023年11月8日

真庭市議会議長 小田康文 殿

報告者 真庭市議会議員 氏名 伊藤義則 

下記のとおり政務活動費を使用して 調査研究・研修会・要請陳情活動をしましたので、その結果を報告いたします。

1 日 時	自 2023年10月26日 (午前・午後) 4時50分 至 2023年10月28日 (午前・午後) 2時35分
2 場 所	10月26日 富山県民ホール、交流会 10月27日 南砺市井波総合文化センター
3 用 件	過疎シンポジウムinとやま に参加するため
4 概 要	 ・「過疎地域の使命」 ・「ウェルビーイング先進地」 ・集落の暮らしを未来につなぐ現場での取組み課題 詳細は別紙



全国過疎問題シンポジウム2023inとやま（富山県民会館ホール）

2023年10月26日、27日

伊藤義則

- 26日
- ・ 令和5年度過疎地域持続的発展優良事例表彰式
- 13:00
- ・ 基調講演「過疎地域の使命」講師宮口 早稲田大学名誉教授(富山在住)
- ～15:00
- 1.富山での過疎シンポジウム開催の意義
 - ・ 大都市圏を除けば最も過疎地域の少ない県で、現在は南砺市・氷見市旭町のみ
 - ・ 県民所得5番目の経済県であるため、過疎シンポジウムの開催が遅くなった。
 - 2.過疎法の歩み
 - ・ 最初の過疎地域対策措置法は1970年で、1965年の国勢調査で地方の急激な人口減少があらわになった。議員立法で時限立法の過疎法が成立した。償還の70%を地方交付税で補填する、かつ市町村の主体性が基本になるもの。その後、10年ごとに進行特別措置法、活性化特別措置法と続き道路・集会施設などハード整備が行われた。
 - ・ 2000年の第4次自立促進特別措置法で過疎地域の役割を議論した。下記の点で過疎地域の役割として共通理解を得る。
 - ①都市とは違う美しく風格ある国づくりへの寄与
 - ②国民が新しい生活様式を実現出来る場としての役割
 - ③長寿高齢化社会のさきがけとしての役割
 - ・ 2010年過疎債のソフト事業への充当の条文が生まれた。
 - 3.半世紀前に過疎法が生まれたことの現代的意義
 - ・ 2015年に国連サミットがSDG'Sという国際目標を採択し、「誰一人取り残さない」という思想を示した。日本の過疎法はそれに先立つこと45年、人口減少と財政力指数を指標とするどの市町村も取り残さない姿勢は世界でも先駆的な取り組みであった。
 - 4.過疎地域の持続的発展の支援に関する特別措置法成立の意義
 - ・ 第1条の目的に「人材の確保及び育成」、第4条の対策の目標でも「多様な人材を確保し、育成すること」冒頭にある。地域の発展は人がつくることが普遍化された意義は大きい。
田舎の人は田舎の頑張りが、都会の人の頑張りとは違う。違うことが大事。
 - 5.目標は豊かな少数社会
 - ・ 過疎地域の人口は9.3%、面積は63.2%である。
過疎地域は人口減少を嘆くのではなく、地域力と知恵を使って少数の人間が広大な空間と資源を活用する豊かな少数社会を目指すべき。
過疎地域で幸福感のある地域生活をつくることがこの国の価値を高める。（都市部は格差・貧困・孤独など不幸も量産している）
少数社会では人と人が支え合って、良い状況をつくることが可能だ。
 - 6.大都市にも小さな社会に関心を持つ人が増える。
 - ・ 地域おこし協力隊、地域おこし企業人などの制度は定着した。
 - ・ 地方は人生に余裕があることが知られていった。

7.豊かな少数社会への道

- ・ 少数社会では効率的分業システムは成り立たない。生産組織の複合化が基本である。←障害者との連携業務、有資格以外の業務を除く
- ・ 地域の居心地の良さをいかに作るか
 - ①移住者と住民の良い関係
 - ②移住者コーディネーターが新しい社会関係を誘導
 - ③遠くの人のお手伝いで地元が盛り上がる
 - ④行政が地域社会の活性化を誘導
- ・ 行政は人の情報をキャッチして人材をつなぐ必要がある。
- ・ 会話が行きかい、付き合いのパワーが大きい「にぎやかな過疎」にしよう。
- ・ 豊かな自然ももとより過疎地域の価値である。美しい自然をツーリズムを含む経済活動に活用することは大きな課題である。

8.過疎地域の使命

- ・ 今や日本の多くの経済指標は下位に転落している。
過疎地域は少しの支援で生き抜いた地域である。過疎地域が豊かな少数社会に置き換わることが国への最大の貢献である。

15:10～ ・ 「ウエルビーイング先進地域～多様な人材が創るこれからの地域社会～」

17:00 1.多様な人材をどう呼び込むか

- ・ 子供たちが帰ってきたくなる故郷をつくりたい。住んでいる人がその街を愛おしく思う。 →1枚のマップに街を落とし込む。歩きたくなる街
- ・ 一緒に共感し、汗を流して一緒に活動する。地域の多様な担い手を増やしたい。←関係人口
- ・ コンセプトを明確にして外へアピールする。

2.外から来る人は本当に必要か

- ・ 外から来る人はその地域の主体性を引き出す事ができる。
- ・ 外部の人が変化をおこし、地域の人が支える。
- ・ 外から来る人は「しがらみ」がなく変化を起こせる。

3.多様な人材をどう継続させるか

- ・ 地元の方々に受け入れられない時は孤独感にさいなまれる。
→行政の人が話を聞き解消する。
- ・ 地元の方も関心を持ち少しのおせっかいをする。
- ・ 地元の方が同年代の若者のコミュニティを支援する。
- ・ 場の提供等を通し、数年で良いのでチャレンジショップを体験させる。
若い方に成功体験をさせる。
- ・ ○○さんがいるから会いに行きたい。そう云う関係性を築く。
一緒に過ごす時間と汗を流した時間に比例するのでは。

4.ウエルビーイングとは

- ・ 長期的な「幸」、「ご機嫌な状態」
 - ①自分が知らない世界があり、それを知ることが出来る。
 - ②人との出会い、人とのつながり
 - ③あいさつを交わせる街 → 居心地が良い
 - ④自分の地域に誇りを持てる状態

18:00~ ・交流会 (ANAクラウンプラザホテル富山)

20:00

27日9:00~ ・第3分科会 南砺市「集落の暮らしを未来につなぐ」ための取組みと課題

12:00 [取組み]

- 1.「一流の田舎を作ろう」定住しなくても分散化していてもネットワークでつながっていれば良いのでは
- 2.住んでいる所を面白くしたい。
地域に名人がいっぱいいる。その人達を結びつける。地域の弱みを堂々とアピールする。
- 3.「集落支援制度」を活用する。(協力隊の任期3年 支援員の任期1年)
- 4.地域新聞を継続して出している。
- 5.集落対策を諦めない。

[課題]

- 1.集落支援員、地域、行政との関係を築くために事前に十分な話し合い、引き継が必要(支援員、行政の担当者は任期があるため)
- 2.人間関係を調整する人が必要
- 3.行政担当者への報告が必要
- 4.地域自治協議会は任意団体だが、行政の仕事を引き受ければ事が上手く行く。
- 5.地域住民が主体性を持つことが大事、「楽しい」は続く。
(仕事は続かないが、趣味は続く)
ねばならないは続かない、ケラケラ笑いながら行う。

13:00~ ・井波市 ジソウラボの地域活性化の見学

15:00 ジソウラボの代表理事 島田優平さんは真庭市のバイオマスを見学に来られたそうです。

~17:00 ・相倉合掌造り集落見学、富山駅



様式第2号

報 告 書

令和5年11月9日

真庭市議会議長 殿

報告者 真庭市議会議員 氏名 中尾 哲雄



下記のとおり政務活動費を使用して 調査研究・研修会・要請陳情活動をしましたので、その結果を報告いたします。

1 日 時	自 令和5年10月26日 (午前・午後) 5時30分 至 令和5年10月28日 (午前・午後) 1時40分
2 場 所	富山県富山市富山県民会館ホール 富山県南砺市
3 用 件	2023年全国過疎問題シンポジウムへの参加 早稲田大学宮口名誉教授の基調講演 南砺市での空き家利用の視察
4 概 要	別紙のとおり

2.

全国過疎問題シンポジウム2023 in とやま

令和5年10月26日(木)～27日(金)

参加者（みんなの会） 中尾哲雄
古南源二
伊藤義則 以上3名

基調講演

文

宮口侗迪（早稲田大学名誉教授、法学博士）

過疎地域の指名 使命

- ① 富山での過疎シンポジウム開催の意義
- ② 過疎法の歩み
- ③ 半世紀前に過疎法が生まれたことの現代的意義
- ④ 過疎地域の持続的発展の支援に関する特別措置法成立の意義
- ⑤ 目標は豊かな少数社会
- ⑥ 大都市にも小さな社会に関心を持つ人が増える
- ⑦ 豊かな少数社会への道
- ⑧ 過疎地域の指名 使命

分科会 第3分科会に出席

パネルディスカッション

内容は、集落の暮らしを未来へつなぐことや集落支援の在り方などが話された。

現地視察 南砺市井波を見学

古い町並みが残る日本一の木彫りのまち
世界遺産相倉合掌造り集落を見学した。

中尾哲雄

様式第2号



報 告 書

令和 5年 11月 9日

報告者 真庭市議会議員 氏名 古南 源二



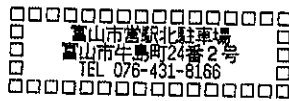
下記のとおり政務活動費を使用して調査研究・研修会・要請陳情活動をいたしましたので、その結果を報告いたします。

1	日 時	自 令和5年10月 26日（午前・午後） 5時30 至 令和5年10月 28日（午前・午後） 1時40分
2	場 所	富山県富山市富山県民会館ホール 富山県南砺市
3	用 件	2023全国過疎問題シンポジウム参加。 宮口侗廸氏の基調講演拝聴。 先進地事例を享受。 南砺市で空き家利用の事例と相倉合掌造りを視察。
4	概 要	参加者：中尾哲雄、古南源二、伊藤義則以上3名

交通費、駐車場関係領収書

富山市視察研修交通費関係費用

高速道路料金	久世ー富山西	10,200
〃	富山ー久世	7,210
ガソリン代	尾御前SA 宇佐美北陸支店	5,100
〃	東真 勝山中央SS	3,928
タクシー代	富山駅前ーANAホテル会場	800
〃	ANAホテル会場ーアパホテル	900
駐車場	県民会館駐車場	880
〃	富山駅北駐車場	2,310
合計		31,328
古南源二	一人だけ1円だけ少なくなります	10,442
中尾哲夫		10,443
伊藤義則		10,443



領収証

入庫日時 2023年10月27日 07時44分
出庫日時 2023年10月27日 17時27分
No.03-000028 券No.02-051065

駐車料金 (一般車) 2310円

料金計 2,310円

投入現金 2,310円
釣銭額 0円

全て消費税10%適用対象
登録番号: T3800020003403
富山市駐車場事業特別会計

(公財)富山県文化振興財団
登録番号: T2230005007932
全て消費税10%適用対象
TEL 076-432-3111
富山県民会館駐車場

領収証

入庫日時 2023年10月26日 12時12分
精算日時 2023年10月26日 17時01分
No.02-000092 券No.01-553618

駐車料金 (1H-) 880円

割引金額 330円
料金計 880円

投入現金 1,000円
釣銭額 120円

領収証

No.7212

日付 23年10月26日

車番 000310 00

基本運賃 ¥800円

合計 ¥8,000円

上記の通り領収致しました

消費税率 10%

毎度ご乗車ありがとうございます

富山市長江新町1丁目1番22号

富山個人タクシー協同組合

TEL: 076-423-8877

(個人)和合タクシー

(携帯)

TEL: 090-8263-0208

登録番号:

T5810919538595

利用明細書

No.6790

2023年10月28日 01:33

入口料金所 富山

出口料金所 久世

車種 普通車

通行料金 ¥7210円

合計 ¥7210円

利用明細書

No.6791

2023年10月26日 11:51

入口料金所 久世

出口料金所 富山西

車種 普通車

通行料金 ¥10200円

合計 ¥10200円

領収証

車両番号 535号

2023年10月26日

毎度ご乗車ありがとうございます。

(現金・チケット・クーポン・カード)

乗車料金 ¥900円

運賃料金計 ¥900円

合計 900円

消費税率 10.0%

登録番号: T8230001002072



富山交通株式会社

〒930-0871 富山市波代町2-1

(076) 421-1122

SS検索=>https://usappy.jp/ss_corp/
宇佐美HP=><https://usami-net.com/>



領収書

印刷受領番号

印刷受領番号

印刷受領番号

尼御前サービスエリア上り
側西日本宇佐美 北陸支店

368435

売上

登録番号 T4180001097758

2023年10月27日

20:31

ウサツビ イカイン 様
現金固定 01-504671-51081-0235-4

レギュラーガソリン P-8(内)
27.87L 8183.0 5100円
(税抜 8166.4)
01200.00
(内、新規3円引き -83.0 -84円)
(内、会員値引き -82.0 -56円)

合計 5,100円
(内、消費税等(10.00%) 454円)

釣銭 1万円: 4,900円
5千円: 900円

ENEOS

納品書(領収書)

2023年10月28日 12:14

売上
現金フリー 様 M
90-200-002-000000-0
BODYCARDフリー
車両番号 実車番 9355
0110-00
レギュラーガソリン P-06
22.71L *
173円 ¥3,928
(内ガソリン税53.80円 ¥1,222)
合計 ¥3,928
(消費税10%対象 ¥3,928
内消費税等 ¥357)
釣銭 10000-6072 5000-1072
4000-72

東真産業株式会社 勝山中央SS

岡山県 真庭市勝山1074-1

TEL:0867-44-2360 SS-303138

登録番号: T7260001022688

シートNo. 3074-02 ティーNo.1106-1108

2023/10/28

これ以降個人の報告になります。

22日の基調講演は早稲田大学名誉教授宮口侗延氏がこの地で開催する意義について話された。富山県は過疎法成立時の適用はわずか2村だけ、今でも南砺市、氷見市、朝日町の3か所のみである。古くから棄売資本による水力発電によって大正期から大企業の工場誘致があり、現在でも駅ごとに大工場があり、高卒生の就職は全国2位になっている。経済県富山の人も過疎地域の素晴らしい取り組みを知り日本全体に思いをはせてほしいところに意義がある。

過疎法の歩みについて1970に最初の過疎特別措置法の制定からその意義や変遷について話された。豊かな少数社会への誘導が必要であり過疎地域の豊かな自然が保たれていくことも過疎地域の使命でもあると結ばれた。

2日目は分科会に分かれての視察となった。南砺市の相倉集落（合掌造り）見学から道の駅木彫りの里を会場に食事をとりながらの話はよく聞き取れなかった。7人乗りの電気自動車（社地区に導入しているのと同じ）、シニアカー、電動キックボードの試乗が旧市役所の敷地で行われたが大したことはなかった。空き家の再利用を何件か見て回り説明を受けた。近藤高梁市市長も同行されており、「城下町には独特の風土があるのでこのように空き家利用がスムーズにはいかない」と耳元でささやかれたのが印象的だった。交流会では参加者からそれぞれの町について話を聞くことは、基調講演より大変有意義であった。総務省の山越氏は真庭市長をよくご存じであり話が弾んだ。

以上

出会った人



経済学研究科 博士後期課程経済学専攻
井上 あい子

〒851-8587 高知市西野山町8-2-1
TEL 088-823-9269 FAX 088-823-9269
E-mail: aiino@econ.u-hyogo.ac.jp

高知県香南市議会

議員 北本 洋介
Yohsuke Kitamoto

〒781-5292 高知県香南市西野山町2706
TEL 088-823-5757 FAX 088-823-5758
FAX 088-823-5756
E-mail: yohsuke@mx1netwave.oc.jp

女性活躍の推進第一の県政実現へ

一燈立志の会
高知県議会議員
依光 美代子

〒780-8570 高知市丸の内1-2-20
TEL 088-823-9087 FAX 823-9269
E-mail: m-yorimitsu@mub.biglobe.ne.jp

岡山県県民生活部



岡山県マスコット「ももっちゃん」

中山間・地域振興課
活力創出班
主 事 横畑 玄樹
Yokohata Genki

〒700-8570
岡山市北区山下二丁目4番6号
TEL 086-226-7267 FAX 086-224-6195
E-mail: genki.yokohata@pref.okayama.lg.jp



香南市 議会事務局
事務局長 西内 孝一

〒781-5292 高知県香南市西野山町2706
TEL (0887) 57-8313
FAX (0887) 59-0576
E-mail: gikui@ciy.kochi-kenan.lg.jp



水・緑・風が調く豊かな暮らしと
産業で発展するまち「香南市」



〒781-5292 高知市丸の内1-2-20
TEL 088-823-9087 FAX 823-9269
E-mail: m-yorimitsu@mub.biglobe.ne.jp



総務省
地域力創造審議官

山越 伸子